

高松帝酸株式会社

オレフィン系容器(製品・部材)のバリアー性・耐薬品性向上

国内唯一

代表者名	太田 賀久	窓口担当	江口 敦
電話/FAX番号	087-822-5222 / 087-822-4878	E-mail	a-eguchi@takatei.co.jp
住所	高松市朝日町5丁目14-1		
主要製品	医療・産業向け各種ガス販売、ガス関連機器及び関連資材の販売、フッ素ガス表面処理製品・処理事業		
事業内容	高圧ガスの製造・販売、ガス関連機器及び関連資材の販売	URL	https://www.takatei.co.jp/
資本金(百万円)	99.5	設立年月	昭和47年7月
		売上(百万円)	12,800
		従業員数	205

フッ素ガス表面処理技術【フロロバリアー技術】

【適用可能分野】 理化学容器、溶媒保管容器、農薬製品容器など

【開発レベル】 アイデア段階 試作/実験段階 開発完了段階 製品化段階

【特許の有無】 (有 無)

【業種】
不問

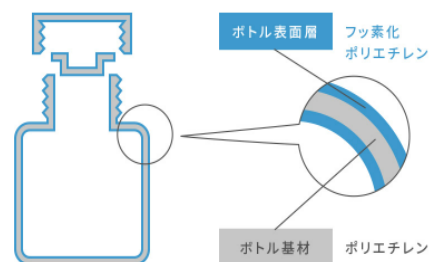
(1) 技術の特徴・優位性

当社開発商品 ーフッ素ガス表面処理技術【フロロバリアー技術】とはー

- 樹脂容器にフッ素ガスを接触させて表面を化学的に改質させる技術です。
- フロロバリアー容器は高い溶媒バリアー性を有し、様々な有機溶媒や香料等の保管が可能になります。
- 積層コーティングではないため、剥がれ落ちが無く、処理効果は長期間継続します。

【特徴】

- ・剥がれ落ちが無く、効果が長期間継続
- ・PTFEのようなフッ素樹脂の性能を発揮
- ・基材であるポリオレフィン物性は保持される
- ・容器形状に制限なし
- ・容器以外にもキャップなどの小型部品も対応可



フロロバリアー容器の断面モデル

【優位性】

- ・既存容器をそのまま高機能化
- ・ガラス容器のようにワレない
- ・金属容器のように錆びない

(2) 適用分野

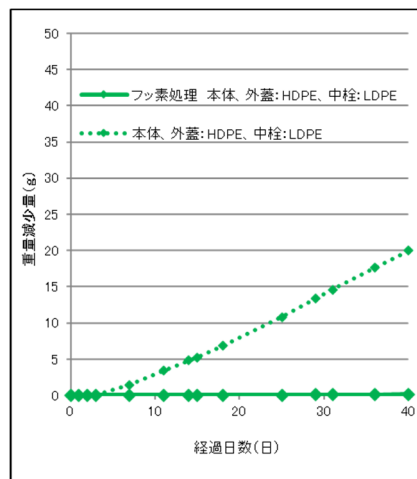
- アセトン、トルエン、シンナーなどの小分け保管容器、洗浄瓶
- グリスなどの製品容器
- リモネンなど香料の製品容器
- PE、PP 製キャップなどへも適用可能



PE容器
(30日後)

フッ素化PE
(30日後)

HDPE 容器とフッ素処理容器の溶媒保管での変形の様子



◆実験方法

各ボトル 500ml の中に有機溶剤をそれぞれ 200ml 入れ、蓋をして密封する。それらのボトルを室温で保管する。その間、定期的に重量測定し重量減少量をプロットする。

知財・受賞歴・PR事項等

特になし

希望提携内容

受託加工